

## 高齢者雇用と社会的保護

### 特集にあたって

2013年10月8日、第26回国際労働問題シンポジウムが、法政大学市ヶ谷キャンパスで開催された。1987年に始まったこのシンポジウムは、2003年以降ILO駐日事務所と法政大学大原社会問題研究所の共催、2011年以降日本ILO協議会の後援で開催されている。

シンポジウムは原則として、その年のILO総会で取り上げられた議題を一つ選んでテーマとし、討議に参加した政府および労使の代表から報告を受け、これに関する学識経験者による報告やパネリスト間の意見交換、フロアからの質疑応答を行うかたちで実施されてきた。第26回国際労働問題シンポジウムは、2013年6月の第102回ILO総会で取り上げられた議題のうち、第4議題「新たな人口動態の文脈における雇用と社会的保護」をテーマとして開催された。前年のシンポジウムが若年雇用問題を取り上げたのに対し、今回のシンポジウムは高齢者雇用や社会保障問題を中心に議論した。

シンポジウムでは、政労使、学識経験者の報告・講演だけでなく、ILOアジア太平洋総局から第4議題に関する報告書の作成に参加した専門家が来日し、講演をしていただいた。このテーマは多くの人々の関心を集め、約110人が参加した。共催および後援のILO駐日事務所、日本ILO協議会のご尽力の賜物であろう。両団体に改めて謝意を表したい。最後になるが、パネリストをはじめご参加いただいた方々などすべての関係者に、心からお礼を申し上げたい。（鈴木 玲）

### 第26回国際労働問題シンポジウム 高齢者雇用と社会的保護

共催	法政大学大原社会問題研究所 ILO駐日事務所	日時	2013年10月8日（火） 午後1時～5時30分
後援	日本ILO協議会	会場	法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー（スカイホール）

#### プログラム

司会	法政大学大原社会問題研究所教授	鈴木 玲
2013年のILO総会について	ILO駐日代表	上岡 恵子
新しい人口動態における雇用と社会的保護	ILOアジア太平洋地域総局雇用専門家	松本真紀子
政府の立場から	厚生労働省大臣官房国際課国際労働機関第一係長	寺村 健作
労働者の立場から	日本労働組合総連合会雇用法制対策局部長	城尾 英紀
使用者の立場から	日本経済団体連合会国際協力本部本部員	間利子晃一
人口高齢化と雇用、社会保障—日本の課題	法政大学経営学部教授	奥西 好夫

（注）肩書は2013年10月現在